

## 短期入所療養介護利用料一覧表

基本利用料（保険給付の割負担分／1日あたり）

費 目		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
短期入所療養介護費	多床室 (相部屋)	902円	955円	1024円	1081円	1139円
	個室	820円	871円	939円	997円	1053円

居住費・食費（1日あたり）

費 目		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階		
居住費	多床室	0円	370円	370円	650円		
	個室	490円	490円	1310円	1640円		
食 費		300円 3食	390円 3食	650円 3食	2017円／3食		
					朝食621円	昼食723円	夕食673円

※おやつは別紙（1日あたり152円です）

加算利用料（保険給付の割負担分）

費 目	金 額	加算単位	内容の説明
特定介護老人保健施設 短期入所療養介護費（一） （日帰りショート）	709円	1日	常時看護職員による観察を要する重度要介護者に対し、3時間以上4時間未満の短期入所療養介護を実施した場合
特定介護老人保健施設 短期入所療養介護費（二） （日帰りショート）	990円	1日	常時看護職員による観察を要する重度要介護者に対し、4時間以上6時間未満の短期入所療養介護を実施した場合
特定介護老人保健施設 短期入所療養介護費（三） （日帰りショート）	1384円	1日	常時看護職員による観察を要する重度要介護者に対し、6時間以上8時間未満の短期入所療養介護を実施した場合
夜勤職員配置加算	27円	1日	夜勤を行う看護職員又は介護職員の数が、厚生労働大臣の別に定める基準に適合している場合
個別リハビリテーション実施加算	262円	1日	個別リハビリテーション計画に基づき、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が個別リハビリテーションを20分以上実施した場合
認知症行動・心理症状緊急対応加算	218円	1日（7日を限度）	認知症の行動・心理症状が認められ、在宅での生活が困難であり緊急に指定短期入所療養介護を利用することが適当と医師が判断した方に対し、サービス提供を行った場合に加算されます。
緊急短期入所受入加算	99円	1日（7日を限度）	居宅サービス計画において、計画的に行うこととなっていない指定短期入所療養介護を緊急に行った場合（やむを得ない理由等により短期入所が必要となった場合）※利用者の日常生活上の世話をを行う家族の疾病等やむを得ない事情がある場合は、14日を限度
若年性認知症利用者受入加算	131円	1日	若年性認知症（64歳以下の初老期における認知症）利用者ごとに個別の担当者を定め、当該利用者の特性やニーズに応じたサービス提供を行った場合
重度療養管理加算	131円	1日	要介護4又は5に該当する利用者に対して、計画的な手厚い医学的管理を継続的に行い、指定短期入所療養介護を行った場合

在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）	37円	1日	厚生労働大臣の別に定める基準に適合している場合
送迎加算	201円	片道	利用者の心身の状態、家族等の事情等からみて送迎を行うことが必要と認められる利用者に対して、居宅と指定短期入所療養介護事業所間の送迎を行った場合
総合医学管理加算	300円	1日（7日を限度）	居宅サービス計画において計画的に行うこととなっていない指定短期入所療養介護（診療方針を定め、治療管理として投薬、検査、注射、処置等を行い、それらを記録し、かかりつけ医に対し、利用者の同意を得て、診療状況を示す文書を添えて必要な情報の提供）を行った場合（7日を限度）
療養食加算	9円	1回	医師の発行する食事箋に基づき療養食を提供した場合（1日3回を限度）
認知症専門ケア加算（Ⅰ）	4円	1日	認知症対象者の占める割合が二分の一以上であり、認知症介護に係る専門的な研修を終了している者を配置し、チームとして専門的な認知症ケアを実施し、施設の従業者に対して、認知症ケアに関する留意事項の伝達又は技術的指導に係る会議を定期的で開催している場合
認知症専門ケア加算（Ⅱ）	5円	1日	「認知症専門ケア加算Ⅰ」の基準のいずれにも適合し、認知症介護の指導に係る専門的な研修を終了している者を一名以上配置し、施設全体の認知症ケアの指導等を実施していること。施設における介護職員、看護職員ごとの認知症ケアに関する研修計画を作成し、当該計画に従い、研修を実施又は実施を予定した場合
緊急時治療管理	565円	1日	利用者の病状が重篤となり、救命救急医療が必要となる場合において、緊急的な治療管理としての投薬、検査、注射、処置等を行った場合（1ヶ月1回連続する3日を限度）
特定治療	利用者の病状が著しく変化した場合に緊急その他やむを得ない事情により行われる医療行為（高齢者の医療の確保に関する法律に規定する保険医療機関等が行った場合に点数が算定されるリハビリテーション、処置、手術、麻酔又は放射線治療（別に厚生労働大臣が定めるものを除く））を行った場合		
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	24円	1日	介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合80%以上または利用者に直接サービスを提供する職員の総数に勤続10年以上の介護福祉士が35%以上の場合
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	20円	1日	介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合60%以上の場合
サービス提供体制強化加算（Ⅲ）	7円	1日	介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合50%以上または看護・介護職員の総数に占める常勤職員75%以上または利用者に直接サービスを提供する職員の総数に勤続7年以上の職員が30%以上の場合

介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	※	1月	所定単位数×39/1000
介護職員処遇改善加算（Ⅱ）	※	1月	所定単位数×29/1000
介護職員処遇改善加算（Ⅲ）	※	1月	所定単位数×16/1000
介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）	※	1月	所定単位数×21/1000
介護職員特定処遇改善加算（Ⅱ）	※	1月	所定単位数×17/1000

※厚生労働大臣が定める基準に適合し、都道府県知事に届け出た場合、いずれかの料金が加算されます。

●上記金額は、実際の精算時には端数処理により若干の金額の違いが生じることがあります。

その他の日常生活費及び特別なサービスの利用料

項目	金額		内容の説明
おやつ代	1日 152円		状態に応じた食形態で提供
日用品費	1本 509円		化粧水(150ml)
	1本 509円		乳液(150ml)
	1本 1223円		保湿用ローション(250ml)
	施設で用意するものをご利用いただく場合にお支払いいただきます。個人で用意される方は、費用はいただきません。		
教養娯楽費(余暇クラブ)	1回 204円		楽しみながらリハビリテーションにつながる余暇クラブ活動に参加いただいた場合 (手工芸・お料理・茶道・昔遊び)
ドリンクサービス	1日 152円		所定の時間帯において、コーヒー、紅茶等を提供いたします。ご希望の方のみ。
テレビレンタル代	1日 224円		多床室(4人部屋)でご希望の方のみ ※イヤホンの使用が必要になります。
電気代	1日 51円		個人用の電気製品を持ち込んだ場合。 150Wまで、1点のみ(携帯電話も含む)
お部屋代	個室	4074円	1日あたり
	2人部屋	2037円	
理美容代(カット等)	実費		ご希望の方のみ
行事費	実費		小旅行や観劇等の費用や講師を招いて実施する料理教室等の費用で、参加された場合
介護用品代等	実費		リハビリシューズなど、施設売店にてお買い上げいただいた際の商品代
嗜好品	実費		乳製品等
その他の費用	実費		必要に応じて診断書等の発行等を希望される場合